



高輪台 7月号

港区立高輪台小学校

〒108-0074 東京都港区高輪2-8-24 <http://takanawadai-es.minato-ky.ed.jp/>
TEL: 03(5447)0616 FAX: 03(5447)5335

㊦くましく ㊧しこく ㊨かよく ㊩くわくする ㊪れにとっても ㊫ごちのよい 小学校

健全な心の育成を目指して

校長

7月になりました。まだまだ梅雨の季節は続きますが、水泳学習の始まりや2年生が育てている夏野菜の成長を見ると、夏がすぐそこまで訪れているのを感じます。夏休みまで残り3週間。4月から取り組んできた学習や生活について、しっかりと自分の成長と残った課題について振り返ってから夏休みを迎えられるように指導してまいります。

6月は「ふれあい月間（いじめ防止強化月間）」でした。これは、東京都教育委員会が、毎年6月と11月に都内全ての小・中学校で、いじめを未然に防止し、子どもたちの健全育成を目指して取り組んでいるものです。

高輪台小学校では、「行為を受けた子どもが心身の苦痛を感じている場合は『いじめ』に該当する」という定義のもと、「いじめはどの学校でもどの子供にも起こりうるもの」と考え、以下の6項目を念頭に置きながら、組織的に対応しています。

- ① 軽微ないじめも見逃さない
- ② 教員一人で抱え込まず、学校組織全体で一丸となって取り組む
- ③ 相談しやすい環境を整え、いじめから子どもを守り通す
- ④ 子どもたち自身が、いじめについて考え行動できるようにする
- ⑤ 保護者の理解と協力を得て、いじめの解決を図る
- ⑥ 社会全体の力を結集し、いじめに対峙する

「ふれあい月間」の期間中、本校では、次のことに取り組みました。（○数字は上記の6項目に対応）

- ・いじめ防止に関する授業（道徳などを中心に）④
- ・ふれあいアンケート（全児童対象）③
- ・スクールカウンセラーによる全員面接（5年生対象）③
- ・いじめに関する教職員研修①②⑤
- ・「いじめ等対策委員会」で外部の人材や関係諸機関との連携の場を設ける⑥（7月予定）

「いじめ」への対応においては、「未然防止」に加えて「早期発見」「早期対応」が重要です。また「重大事態への対処」についても、常日頃から備えておく必要があります。子どもたちへの指導においては、特に「未然防止」と「早期発見」を重視しています。各学級では、子どもたちの発達段階に応じて、道徳、学級活動などの時間に、分かりやすい事例を用いながらじっくりと考える時間を設けています。例えば「友達との関係で『いやだな』『困ったな』と思ったことがあったら、すぐに大人に相談すること」などの具体的な対処法についても学んでいます。『「いじめ」は絶対にしてはいけない』『自分と他者では感じ方が違う』など、いじめを許さない意識を育てる指導や「多様性を尊重し、互いのよさを認め合える態度」の育成についても行い、健全な心の育成に努めております。これからも、こうした積み重ねを通して、子どもたちの健全な心を育ててまいります。

子どもたちの健全育成のためには、学校だけでなく、保護者の皆様、地域の皆様、関係諸機関の皆様のお力添えが欠かせません。

子どもたちが、自分も他者も大切にすることをもち、気持ちよく相手に接することのできる「楽しい学校」「元気な学校」を実現できるように、教職員一同、気を引き締めて取り組んでまいります。皆様にもご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

お知らせとお願い

○夏季休業中の工事について

前年度に引き続き、今年度も夏季休業中の工事があります。校舎内と外壁の塗装工事です。7月18日（土）から工事が始まります。ご迷惑をおかけいたしますが、教育活動に支障のないように配慮しながら進めていきます。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

○学校閉庁期間について

8月1日（土）から8月24日（月）までが港区内小学校の閉庁期間です。期間中、教職員は勤務していません。

○夏季休業中の行事のお知らせ

- ◆ 7月31日（金）～8月2日（日）
岩井水泳教室（6年希望者）
- ◆ 8月21日（金）・22日（土）
夏季学園（5年希望者）

7月の目標

けじめのある生活をしよう

生活指導部

「けじめのある生活」とは、やるべきことの切り替えがしっかりできている生活のことです。学校生活では、時間のけじめをつけることが大事です。中休みや昼休みは楽しみ、授業の準備も忘れずに、席についてチャイムの合図を待てることと素晴らしいです。掃除の時間や給食の時間など、やるべきことにしっかり取り組むことで、学校生活はより充実したものになります。

ご家庭でも、起床・就寝の時刻や、食事やテレビやゲームの時間、学習や読書の時間など、「けじめのある生活」意識して過ごせるようお願いします。また、本校の登校時間は8:10から8:20となっております。余裕をもって一日がスタートできますよう8:20には教室に着いて準備ができますよう、出発のお声掛けをよろしくお願いします。

校内研究～主体的に考え、学び合う子どもたちの育成をめざして～

研究主任

子どもたちが確かな学力をつけるためには、一人一人が主体的に学習に取り組むことが大切です。では、主体的に学習に取り組む姿とは、どのような姿でしょうか。「自分からすすんで発言する」「教員に言われたことに真面目に取り組む」といった姿だけでは「主体的」とは言えません。「課題を自分事として捉え、その課題を解決するために思考をめぐらせる」「自分で考えた方法がうまくいかなくても粘り強く試行錯誤しながら課題解決に取り組む」「友達と一緒に学び合い高め合う」…私たちが目指しているのはこのような子どもたちの姿です。

そして、今の子どもたちに求められているのが「自己調整力」です。子どもたちには個人差があります。だからこそ、それぞれが自分に合った形で学びを進めていくことが必要です。ここで大切になるのは、自分に合う学び方を自分自身で選んだり調整したりする力なのです。

学校生活の大半は授業です。子どもたち一人一人が自分に合った学び方で確かな力をつけていけるような授業をめざして取り組んでいきます。ぜひ、ご家庭でも授業の様子を話題として取り上げたり、学校公開の際に授業を参観したりしていただければと思います。



こころの劇場

6年担任

6年生は6月10日（水）に劇団四季「こころの劇場」を観劇してきました。演目はミュージカル「はじまりの樹の神話～こそあどの森の物語～」。子どもたちは、俳優さんたちの魅力的な演技や本格的な舞台装置に心惹かれ、集中して観劇し舞台を楽しんでいました。

○一人一人の声の迫力、歌の迫力がすごくて、細かい動きも丁寧に驚きました。前の方の席に座れたことで、セリフのない俳優さんの動きも見ることができ、勉強になりました。演じるキャラクターによって、動きが変わるところもすごかったです。

○私は劇を通して、助け合い立ち向かうことの大切さを学びました。このような気持ちになれたのも、演技をする役者さん一人一人の演技が上手だったからだだと思います。セリフも歌も感情を伝える技術に感動しました。

○一人一人が激しい動きをしながら歌っているのに、全然声がぶれずにすごいなと思いました。また、とても大きい会場で演技をしているのに、緊張せずに堂々と迫力のある声と動きで演じていて、自分も人前に出るときには頑張りたいと思いました。

特別支援教室への通級及スペシャルニーズアシスタント（SNA）の配置（令和8年度3学期）の申込みについて

本校では、対人関係やコミュニケーションで困難を抱えている児童が、すこしでも改善できるように特別支援教室（高輪台ルーム）を開室しております。社会性の獲得のために行われるソーシャルスキルトレーニングや、手先の巧緻性を高めるトレーニング、姿勢保持等を目的とした体幹トレーニング等、通常の学級の中では指導の時間が取りにくい学習を行います。また、昨年度より通常学級の一斉指導において、個別支援を行うスペシャルニーズアシスタント（SNA）が配置されています。いずれも興味のある方は9月1日（火）までに担任、特別支援コーディネーター、副校長までご相談ください。

令和8年度 運動会

運動会委員長

運動会に向けて一か月間頑張って練習していました。学年で力を合わせて、子どもたちが元気いっぱいに踊っている姿や、友達と協力する姿を保護者や地域の方々に参観してもらうことができたと思います。ご多用の中、温かいご声援とご協力ありがとうございました。

～各学年の感想～

(1年生)

- たのしくいちにちをすごすことができました。だんすをたのしくできました。
- たまいで、たくさんたまをいられることができて、うれしかったです。

(2年生)

- 緊張したし、ドキドキしたけれど、頑張っているいろんなことにチャレンジできました。指をピンとして、止めるところをカッコよく、踊れました。お父さんとお母さんがすごく褒めてくれたので、とても嬉しかったです。
- にこにこで楽しくたくさん玉入れをできたし、玉もいっぱいかごに入れられました。踊るときは踊って、投げるときは投げて、楽しく玉入れができたことが嬉しいです。来年の運動会も楽しみです。

(3年生)

- 台風の前ではまけちゃったけど、白組の台風の目を見てどうすれば上手にできるのか学びました。「エイサー」や「めつ」では、人前で笑うのがにがてだったけれど、笑えてよかったです。
- 台風の前は、やる前にいっしょに、どんな速さで走るかを話し合いました。エイサーめつを毎日ママとパパにかっこいいダンスを見てほしいという気持ちで練習してきました。自分が成長したと思うのは、みんながかっこいいと思えるように踊ったことです。

(4年生)

- 団体競技では、棒を運ぶときに他の3人とスピードを合わせたり、特にコーンを回るときはみんなで力を合わせたりすることができました。列をつめて取り組むことができて勝てました。
- ダンスでは、思いっきりの笑顔でカッコよさと可愛さができたと思います。負けても楽しかったので、切りかえて次の徒競走で力を発揮したいです。
- 負けてしまったけれど、運動会を全力で楽しむことができました。ダンスでペアの友達と気持ちをあわせておどることができました。

(5年生)

- ダンスは練習していくうちにわかるようになってきて、ふりを大きくしたり、意味を考えたりしながら踊るようにしました。その結果、ダンスが楽しく踊れました。また、リレーでは仲間にバトンをつなぐことを考えて集中して走ることができました。
- 表現では、125人みんなで一致団結しました。群れずに集団になって本番を迎えることができました。綱引きも心をつ一つにして勝つことができました。(5年生)

(6年生)

- フラッグの演技は、休み時間にたくさん練習した成果を発揮し、間違えずに完璧な演技ができました。選抜リレーについてもスムーズなバトンパスを意識して走り切ることができました。仕事にも責任をもって取り組みました。結果は、赤組の負けでしたが、最高の運動会にすることができました。
- 今回の運動会では、自分たちの競技や表現だけでなく、係などで学校を支えられたと思います。フラッグでは、休み時間にも練習を頑張りました。本番では、その成果が発揮することができてとてもうれしかったです。

1年生

2年生

3年生

4年生

5年生

6年生

